

今春今夏、早稲田サークル文化活動を より活発に行おう！

物価高騰に対するサークル補助金の大幅増額をかちとろう！
サークル活動施設・備品の改修・修繕を求めよう！
困窮する早大生への経済的支援の拡充を求めよう！

サークルの諸権利を守り・拡大するために、
サークルどうしの結束を強めよう！

文連常任委員会 (090-2331-4456)

文連加盟サークルのみなさん！ 私たちは4・5月期、協力して対面でのサークル新歓活動を盛大に実現してきました。これにふまえて日々の稽古や練習を活発につみかさね、演劇公演、演奏会などのサークル企画を続々と実現してきました。こうした活動を継続し、今春今夏、新たな仲間とともに早稲田サークル文化活動をいっそう活発にくりひろげていきましょう！

対面での新歓活動を盛大に実現した4月期

文連加盟サークルはこの4月、当局・学生部による感染対策を理由にしたサークル活動規制をついに完全撤回させ、実に四年ぶりにキャンパスでブースを設置した対面でのサークル新歓活動を実現しました。私たちは新入生に直接ビラを手渡し、ブースに案内して文化系サークルの魅力を熱烈に訴えてきました（みんなで作った新歓パンフレット「文化運動 vol. 61」はまたたく間に新入生の手に渡り大好評でした）。このように私たちは協力して今年の新歓活動を盛大に実現したのです。

今年の新歓活動を実現するにあたり、文連加盟サークルは対面での新歓活動を当局に認めさせたことを最大限に生かすために議論をつみ重ねてきました。学生部がコロナ対策を理由にして3年にわたり新歓活動を規制してきたことによって、多くの早大生が対面での新歓活動の経験を十分に得ることができていませんでした。私たちはこの状況を打開するために、互いに知恵を出し合い文化系サークルの楽しさややりがいを新入生に直に伝えるための工夫を話し合ってきたのです。これをつうじてサークルの結束力を強くしてきたことが何より大切なことです。誇りをもって確認しましょう！



←四年ぶりに全面的な対面での新歓活動を実現し、新入生にサークル活動の魅力が熱烈に訴えられました。

→配布した文連の新歓パンフレットは新入生に大好評！文化系サークルの素晴らしさを大宣伝しました。



物価高騰に対するサークル補助金の大幅増額をかちとろう！

今春今夏、私たちはサークル活動をよりいっそう活発に行うために、当局・学生部に対するさまざまな保障を求めていく必要があります。まず何よりもこんにちの物価高に対する財政的な保障が絶対に必要です。多くのサークルが財政状況の逼迫を訴えてくりかえし学生部に対してサークル補助金の増額を求めているにもかかわらず、実にこの20年のあいだ一度も増額されていないのです。急激な物価高騰が続いているもとにあって、これで一体どうやって全国一の活発さを誇る早稲田のサークル活動を守り発展させることができるのでしょうか！ 昨年以降、木材や紙・布、クギやネジなどの工具類や塗料をはじめ、楽器の弦などの消耗品、書籍や文房具…といった私たちのサークル活動になくてはならない物品が軒並み値上がりし、サークル員の金銭的負担は増える一方です。加えて3月からは交通費が、4月からは食品など5800品目

上の生活必需品が再び値上がりし、さらに6月からの電気料金値上げが家計を直撃しているもとで、サークル活動の費用の捻出に苦労している学生も少なくありません。

学生部はこのような状況を十分に考慮し、サークル補助金支給額を低額に抑制し続けていることを直ちに改めるべきです。私たちは、財政の逼迫に苦しむ多くのサークルの現状を打開し・早稲田サークル文化を守り発展させるために、補助金支給額の大幅な増額を学生部に対して粘り強く求めていきましょう！

まだ続くの?! 食品値上げは年内2万品目以上！

- 4月 5116品目が値上げ。
…マヨネーズやヨーグルト、チーズなど。
- 5月 793品目が値上げ。
…コーラなど缶入り飲料やコーヒー豆、砂糖類。
- 6月 2859品目が値上げ。
…海苔製品、かつおぶしなどのだし製品、カップ麺、冷凍食品など。

どれも日常的に食べるものが対象になっており、家計は大打撃。さらに電気代や医薬品、外食の価格も上がっており、多くの学生・労働者が貧窮をますます強いられることに。政府はこのただなかで軍事費のための所得税・消費税の増税、社会保障費の削減などを強行しようとしている。

老朽化した学生会館施設・備品の改修・修繕を求めよう！

サークル活動をすすめていくうえで、老朽化著しい学生会館施設・備品の改修・修繕も不可欠です。多くのサークルがミーティングや共同研究をする際に使用する施設や備品が長期間にわたって破損・摩損したまま放置され、サークル活動に支障をきたしています。[たとえば、会議スペースの磨耗して消せなくなっているホワイトボード、会議室のキャスターが破損して移動がスムーズにできない机、カギが破損して開かない窓、背もたれが外れてしまい持ち運びが非常にしにくいパイプ椅子…など。]これらの速やかな改善・修繕を学生部に対して求めていきましょう。

これ以上の学費値上げに反対しよう！ 困窮する学生への学費減免措置、経済的支援の拡充をさらに求めよう！

いまや私大トップクラスの早大の高額な学費（文系平均・4年間総額約484万円）が私たち学生や父母にとって大きな負担になっていることも深刻な問題です。岸田政権による金融緩和の継続によって猛烈な勢いで物価高騰が続いているにもかかわらず、大多数の労働者の実質賃金はほとんど上がっていません。多くの世帯が大幅な収入減を強いられているのに等しいのです。このため、仕送りを減らさざるを得なくなっている下宿生や、学費や生活費をまかなうためのアルバイトが忙しくなりサークルどころか授業に出ることも大変になっている学生が増えています。経済的な理由で学生が退学・休学に追い込まれたり、サークル活動への参加を断念したりするの

を絶対に許すわけにはいきません。これ以上の学費値上げに反対しましょう！ 全国でも異常な早大の高学費に対する減免措置を求めよう！ 早大当局にたいして、必要とするすべての学生・家庭に対する経済的な支援や援助を拡充し・さらに強力に行うよう求めましょう！

「言論・表現の自由」「平和主義」を否定する憲法改悪にサークルから反対の声をあげよう！

サークル活動をつうじて表現活動や理論研究にたずさわる私たちにとってなくてはならない「言論・表現の自由」「集会・結社の自由」といった諸権利や「平和主義」を否定する政府の改憲策動は見過ごすことのできない問題です。

岸田政権はいま台湾や朝鮮半島を焦点にした米・中激突の危機が高まっているもとで、日本を米軍とともに戦争のできる国へとつくりかえるために、「改憲に向けた機運をこれまで以上に高めていく」と言いながら憲法改悪に突進しています。「緊急時」に一切の基本的な人権を制限できる権限を首相にあたえる「緊急事態条項」の創設と、「戦争放棄」を謳った憲法九条の改悪を狙っています。これを先取りするかのように、自治体が護憲集会の会場の貸し出しを拒否したり、政府に批判的なマスコミ報道を放送法をたてにして統制したりする言論弾圧が始まっています。このような新たなファシズムというべき動きに警鐘を鳴らしている文化人・知識人と私たちは固く連帯して、サークルから改憲反対の声をあげていきましょう。「とめよう！ 改憲 文連の会」が呼びかける「5・28怒りの大集会」にサークルからも参加しましょう。

サークルの諸権利を守り・拡大するために、サークルどうしの結束を強めよう！

早稲田の伝統あるサークル文化の発展をきりひらくためにサークルの諸権利を守り・拡大していくことがとても大切です。今こそ、サークルどうしがジャンルや規模の大小を超えて文連のもとに団結し、直面している困難を協同して解決していきましょう。

上に見たように、いま岸田政権が改憲や大軍拡を推し進めていることと軌を一にして、政府・文科省が大学や研究機関における軍事研究を推進するように圧力をかけています。これをうけて、大学における軍事研究や政府の改憲策動に反対している学生自治会やサークル連合体に対する規制を全国で大学当局が強めています。こうした学生の自治・サークル活動への一方的な規制・統制に対して、愛知大学を先頭にして全国の大学で、学生・サークルが自治会やサークル連合体のもとに団結し自治権の剥奪や停止を許さず学生の諸権利を守り抜いています。私たち早稲田の学生も全国の学生と連帯し、伝統ある早稲田サークル文化を守り発展させるために、サークルどうしの結束を強化していきましょう！ サークル員のみなさん、ともにがんばりましょう！

(2023年5月20日)